

(3-1) 「生涯学習の充実」に関する事業

(1) 多種多様な学びの機会の提供

3-1-1 社会の様々な学習ニーズに対応した公民館事業を推進します・・・53

3-1-2 市民の読書活動とさまざまな学びを支える図書館サービスの
充実を図ります・・・54

(2) さまざまな世代の参画と交流機会の提供

3-2-1 市民が共に学び合う場を創出します・・・55

3-2-2 社会教育関係団体の自主的、自発的な活動を支援します・・・56

(3) 生涯学習施設の利用促進

3-3-1 生涯学習施設が十分な機能を保持するように努め、利用を促進
します・・・57

3-3-2 まちづくりの拠点として、カレード、カミーノの積極的活用を
図ります・・・58

令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課

- 基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 1 多種多様な学びの機会の提供
 具体的施策 3-1-1 社会のさまざまな学習ニーズに対応した公民館事業を推進します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・公民館自主事業（寿大学校・大学院、各地区公民館・女性センターの講座等）の実施
- ・公民館・女性センターサークル会員募集チラシの発行
- ・令和4年度ののいちマナビィフェスタの実施
- ・地区運動会の開催
- ・現代的なテーマの学習講座として、高齢者向けデジタル機器活用講座（鬼に金棒「老いてこそデジタルを」）の開催

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズや地域課題に合った学びの機会を提供し、コロナ禍により減少していた貸館利用者数や施設来館者数が増加した。 ・コロナ禍は中止となっていた地区運動会を実施したことで、幅広い世代の交流を生むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の学習ニーズや地域課題は常に変化していくことから、継続的にその把握に努め、さらに魅力のある主催事業が開催できるよう公民館・女性センターを支援していく。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4	R5	目標値 (R13)
3-1-1	生涯学習施設における主催行事の開催数	回/年	114	148	147	160

（3）今後の展望

- ・新たなニーズや地域課題の解決に努め、市民の学びを支援していく。
- ・サークル会員募集チラシの発行により、サークル活動の周知と新規会員の募集、また、新規のサークル登録に向けた取組を行う。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		多くの市民に利用されていることから、今後も市民のニーズに応えられる主催事業を開催していく。

令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課

- 基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 1 多種多様な学びの機会の提供
 具体的施策 3-1-2 市民の読書活動とさまざまな学びを支える図書館サービス充実を図ります

■当該施策に基づいて実施した主な事業

<ul style="list-style-type: none"> ・生活に密着した情報の提供 虫送りパネル展示、生命保険会社との共催による相続に関する講座 等 ・子どもの読書活動の推進に資する取組の実施 市内の子どもの読書に関わる施設等との連携による「ののいち子ども読書の日」のイベント、図書館を使った調べる学習関連事業 等 ・読書に関わるボランティアの活用 ボランティアによるおはなし会の開催 ・市民学習センター事業の実施 各種教室・講座（市民歴史講座、かがく実験教室など）、映画上映会（隔月開催）、展示会（絵本原画展、陶芸教室生徒作品展） 等 ・開館5周年記念事業 鷹狩ショー、金沢カレーを学ぶ講座、マスコットキャラクターの名前募集 等

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・利便性の高い図書館サービスと市民学習センターの諸室を活用したイベントを行い、コロナ禍により大幅に減少していた来館者が前年度より増加した。 ・電子書籍の貸出数が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民にとっての利用しやすさを重視したサービスが行われるよう、事業者に対し必要な協力・支援を行っていく。 ・カミーノやフォルテなどの施設と連携し、野々市中央地区のにぎわい創出に資する事業を実施する。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4	R5	目標値 (R13)
3-1-2	市立図書館貸出冊数（電子書籍含む）	冊/年	533,094	583,710	600,000	676,000

（3）今後の展望

<ul style="list-style-type: none"> ・新たなニーズの把握に努め、市民にとって使いやすい施設となるよう、運営事業者に働きかけを行っていく。
--

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		多くの市民に利用されていることから、今後も蔵書や行事の新鮮さに気を配りながら、現状維持に努める。

令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課

- 基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 2 さまざまな世代の社会参画と交流機会の提供
 具体的施策 3-2-1 市民が共に学び合う場を創出します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・「ののいちコミュニティカレッジ」の実施（年間14回、延べ353名参加）
 講座テーマ「ニュージーランドの社会と文化」、「おくすり手帳の話」等
- ・学びのサポーターとつくる夏休み体験の実施（年間11講座、376名参加）
 講座テーマ「見たい！知りたい！作りたい！はちみつのはちみつ」、「お金の話と陶芸貯金箱づくり」等

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・「ののいちコミュニティカレッジ」において、より幅広い世代に向けた講座として、ツエーゲン金沢に所属している市内出身選手を講師とした講座を開催するなど多数の方にご参加いただいた。 ・学びのサポーターとつくる夏休み体験では、学びのサポーターが子どもたちを指導することで、幅広い世代間で交流することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の企画運営は公募による委員で構成されている企画委員会が行っている。今後も継続して幅広い世代向けの講座を企画・開催していくため企画委員会への支援を行っていく。 ・学びのサポーターの登録者数を増やすため、周知に努めることが必要。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4	R5	目標値 (R13)
3-2-1	学びのサポーター登録者数	人/年	25	26	25 (実績)	55
3-2-1	市民大学校事業の参加者数	人/年	624 (R1)	353	630	800

（3）今後の展望

- ・今後も継続して幅広い世代が参加できるような講座を開催していく。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		今後も継続して幅広い世代の市民のニーズに応えられる講座の企画に努める。

令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課

- 基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 2 さまざまな世代の社会参画と交流機会の提供
 具体的施策 3-2-2 社会教育関係団体の自主的、自発的な活動を支援します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

・社会教育関係団体への補助金交付

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・地域の活動に参画し、世代間交流や地域の課題を地域で解決する活動を行っている団体に対し支援を行った。それにより、各団体が自主的、自発的に活動することができ、地域社会の活性化や幅広い世代間の交流に貢献した。	・行政と団体が対等なパートナーシップを構築していく必要がある。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4	R5	目標値 (R13)

（3）今後の展望

・各団体が今後も自主的、自発的に活動を継続できるように支援し、必要に応じて新規の団体への支援も検討する。

■評価

事業区分 (方向性)	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他 (縮小・廃止など)	理由
C	C		各団体の活動には、継続した支援が必要である。

令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課

- 基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 3 生涯学習施設の利用促進
 具体的施策 3-3-1 生涯学習施設が十分な機能を保持するように努め、利用を促進します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・学びの杜ののいちカレード、にぎわいの里ののいちカミーノ、富奥防災コミュニティセンター、郷公民館、押野公民館、女性センターの計画的な維持管理
- ・富奥防災コミュニティセンター、郷公民館、押野公民館、女性センターへWi-Fi環境の整備
- ・郷公民館、押野公民館、女性センターへの土足入館の解禁

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に施設の維持管理を行い、利用者が安心、かつ便利に施設を利用できる環境を維持したことで、施設の利用者が増加した。 ・ICT環境の整備を行ったため、公民館事業でリモート講座ができた。 ・ICT機器の利便性を周知したため、施設利用者によるWeb会議の開催に活用された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習施設が十分な機能を保持するよう努めるとともに、カレード、カミーノ以外の生涯学習施設においてICT環境の利活用を促進していく必要がある。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4	R5	目標値 (R13)
3-3-1	公民館、市民学習センター（カレード）、女性センター利用者数	人/年	94,213	154,573	160,000	200,000

（3）今後の展望

- ・利用者が安全かつより便利に施設を利用できるよう、適切に施設を維持管理していく。
- ・カレード、カミーノにおいては、今後も継続して利用者にICT環境を活用いただけるよう支援していくとともに、他の生涯学習施設においてもICT環境の利活用が進むようWi-Fi環境が整備されていることを周知していく。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		生涯学習施設の計画的な維持管理を行うとともに、より便利に施設を利用できるようにしていく。

令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課

- 基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 3 生涯学習施設の利用促進
 具体的施策 3-3-2 まちづくりの拠点として、カレード、カミーノの積極的活用を図ります

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・地域課題の解決に向けた事業
 カレード、カミーノを活用したにぎわい創出のイベント（ボンマルシェ、カレーフェス等）
 事業企画推進協議会による野々市中央地区のにぎわい創出事業（季節の展示、クイズラリー等）
- ・市民協働を推進するための事業
 市民活動センター登録団体の活動支援及び交流会

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・カレード・カミーノを活用した、市民団体等が運営する様々なイベントが開催されたことにより、多くの人が来場し、野々市中央地区のにぎわいが創出された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民にとって、カレードやカミーノがより使いやすい施設となるよう、施設運営の関係者の中で調整を行っていく必要がある。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4	R5	目標値 (R13)

（3）今後の展望

- ・市民によるイベント等でのカレードやカミーノ活用機会の拡大を図る。
- ・様々な活動を行う市民の交流を促すとともに、近隣施設と連携していく中で、まちづくりの新たな取組の創造につなげる。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
A	A		カレードやカミーノを会場とした様々なイベントが多数開催されており、今後も需要の拡大が見込まれる。

(3-2) 学識経験者からの意見

公民館などの生涯学習機関は、諸事業を通して、地域社会づくりを推進しています。しかし、今日の急激な社会構造の変化に伴い、人間関係が希薄化、高齢化、核家族の傾向、青少年を取り巻く問題等多くの地域的課題に直面しています。こうした、問題解決に向けた市民の学びを支援できるような事業への取組を期待します。

人生 100 年時代と言われる今、学校を卒業し、社会人、退職後も教養を身に付けたい、新しい知識を身に付けたい、学び直しがしたいという市民の意識に答えるべく、公民館事業などで多様な学習機会の提供など適切に開催されていたことは素晴らしいことと思います。今後も市民のニーズに応えられる講座の企画に期待します。

市立図書館の貸出冊数や来館者が順調に回復しているようです。子どもの読書活動に資する取組、読書に関するボランティアの取組や市民学習センター事業などの充実によるものと評価されます。今後も市民の新たなニーズの把握に努めることにより、より一層の充実を期待します。

事業企画推進協議会によるイベント開催や市民活動センター登録団体の様々な活動等により、カミーノやカレードの活用が進み、賑わい創出に大いに貢献していることは評価できると思います。今後とも、カミーノやカレードが活用しやすいように施設運営関係者間の調整を行っていただくとともに、近隣施設との連携を図ることによる新たな取組に期待します。

(3-3) 今後の方針

- ① 大人と子どもが、地域社会の中で学ぶ体験は貴重であると考え、多くの人々が学びに参加することを念頭に置きながら、青少年ボランティア団体によるボランティア活動や地域交流活動、フォルテ児童合唱団の活動などを行っていきます。
- ② コミュニティカレッジ等の講座には、幅広い世代の市民のニーズに応えられる若い世代の方にとって関心の高いテーマを取り入れ、幅広い年代の方が参加される事業となるよう工夫してまいります。
- ③ 様々な地域課題や市民ニーズを常日頃から把握し、それに応じた取組を、公民館事業、図書館事業などを通して実施してまいります。
- ④ 北国街道のみならず、当市の賑わい創出事業の推進を図ります。また、市民にとって、カレードやカミーノがより使いやすい施設となるよう、施設運営関係者間の調整を行います。